

創立70周年記念式典

中経連は今年4月に創立70周年を迎え、6月8日(火)に記念式典を名古屋市内の会場およびオンラインで開催。約180名が参加した。

水野会長開会挨拶

中経連は、1951年に中部圏を代表する広域的かつ総合的な経済団体として発足し、創立70周年という節目の年を迎えた。「中部のことは中部で」との自立自助の精神は、連綿と引き継がれ、日々の活動にしっかりと根付いている。



中経連のこれまでの活動としては、経済政策の建議、産業振興に加え、第二東名・名神高速道路や国際港湾などの社会基盤の整備促進、中部国際空港や国際博覧会などのビッグプロジェクトの推進など、中部圏ひいてはわが国経済発展のための活動を行ってきた。また、最近では、次世代自動車や航空宇宙などリーディング産業の振興、広域観光の推進、ナゴヤイノベーションズ ガレージでのピッチイベントをはじめとする交流活動を中心に、イノベーションやスタートアップ支援に力を入れている。

今日の中部圏は、リニア中央新幹線開業や東海環状自動車道西回り区間開通など、近い将来の交通ネットワーク充実や、中部国際空港二本目滑走路の早期実現を見据え、地域のポテンシャルを引き出し、伸ばしていくための重要な時期を迎えている。一方で、新型コロナウイルスにより、わが国のデジタル化の遅れや、危機対応能力の不十分さなどを痛感するとともに、東京一極集中の脆弱性を改めて認識した。

こうした情勢を踏まえ、中経連は2025年までの活動指針となる「中期活動指針『ACTION 2025』」を策定した。「つなぎ」「引き出し」「伸ばす」をキャッチフレーズに、「付加価値の創造」「人財の創造」「魅力溢れる圏域の創造」の3つの「創造」を活動の柱に掲げ、中部圏の地域力の持続的向上に取り組んでいきたいと考えている。

中経連が、広域の産学官や地域の「つなぎ役」となり、関係者の力を結集し、立ちはだかる壁やさまざまな困難を突破していきたいと考えており、これからも皆様からの支援・協力を賜りたく、お願い申し上げます。

来賓挨拶・中期活動指針「ACTION 2025」公表

大村愛知県知事、長坂経済産業副大臣兼内閣府副大臣、古賀経団連審議員会議長・地域経済活性化委員長より祝辞をいただいた後、「中期活動指針『ACTION 2025』」(概要は本誌3～5ページ)を公表した。



記念講演

科学技術振興機構理事長の濱口道成氏を迎え、「ウイズ/ポスト・コロナ時代の科学技術～産学連携、人材育成の現状と課題～」と題した講演会を開催した。



(総務部 馬場 誠治)

中期活動指針

ACTION 2025

中部圏の地域力の持続的向上に向けて “つなぎ” “引き出し” “伸ばす”

I. 中期活動指針の基本的な考え方

- ・中経連の役割は、産学官・地域間の連携などで、圏内各地域のステークホルダーや地域資源をつなぎ、そのポテンシャルを引き出し・伸ばし、地域の付加価値を高めることである。
- ・この役割を果たすことで、中部圏の地域力が高まるよう、「付加価値の創造」「人財の創造」「魅力溢れる圏域の創造」の3つの「創造」を柱とし、8つの指針にもとづき、活動を展開する。

II. 中期活動指針「ACTION 2025」

付加価値の創造

【指針①】コロナ禍で落ち込んだ経済の早期回復に取り組む

- ・会員・圏内各地域の声を踏まえた、国や自治体への提言・要請
- ・航空機産業のダメージの回復と、将来の世界的な航空機産業クラスター化
- ・国内観光・インバウンド双方の回復局面での需要取り込み

【指針②】高い付加価値を生み出す産業の創出・成長、DXの加速に取り組む

- ・ものづくりの強みを生かしたデジタルをはじめとするソフトとハードが融合した裾野の広い産業の創出、「ことづくり」の活発化
- ・DXの加速
- ・ナゴヤ イノベーションズ ガレージの活動充実によるイノベーションの活発化、スタートアップ企業の創出、「Central Japan Startup Ecosystem Consortium」の活動充実

【指針③】地域産業の生産性向上・イノベーションの活発化を図り、地域経済の活性化に取り組む

- ・圏内各地域および産学官の連携の活発化による地域産業の販路拡大や生産性向上
- ・各地域の特徴や強みを生かした魅力ある産業と雇用の場の創出などによる地域産業・地域経済の活性化

【指針④】カーボンニュートラル社会の実現に向けた活動に取り組む

- ・「S+3E」を前提にした再生可能エネルギーの普及拡大、安全性の確保を大前提にした原子力発電所の再稼働、ローカルエネルギーシステムの構築推進
- ・利用サイドのグリーン化(電動化自動車の普及拡大、水素利用の促進など)に資する研究開発、新システム導入などの促進
- ・循環経済社会(サーキュラーエコノミー)の形成推進

人財の創造

【指針⑤】多様な能力を発揮できる人財の育成に取り組む

- ・会員大学に会員企業から講師を派遣する「キャリア教育共創プログラム」の一層の充実
- ・デジタルスキルの向上をはじめ、リカレント教育の推進

【指針⑥】働きやすく住みやすい環境の整備に取り組む

- ・働き方改革の推進(新しい雇用システムへの移行、テレワーク、二地域居住など)
- ・女性、外国人材など、多様な人財が活躍できる、働きやすく住みやすい環境の整備促進

魅力溢れる圏域の創造

【指針⑦】広域的な視点による連携の推進、魅力と活力のある地域づくりに取り組む

- ・観光、デジタルスキルの向上など、広域で共通する課題の解決
- ・「中部圏戦略会議」(仮称)の設立などによる広域での産学官連携活動の強化
- ・地域の特徴を生かした特色ある産業づくり、魅力と活力のある地域づくりに向けた圏内各地域間の連携推進
- ・東京一極集中の是正(魅力と活力のある地域づくり、中央省庁の機能移管に向けた広域行政機能の充実など)

【指針⑧】社会基盤の整備・維持による利便性向上と国土強靱化に取り組む

- ・リニア中央新幹線の開業および開業効果の最大限発揮に向けた準備、中部国際空港の二本目滑走路の早期整備に向けた活動、広域交通ネットワークの整備・活用、港湾機能の強化、インフラの計画的な維持・更新の実現
- ・南海トラフ地震、風水害などへのレジリエンス強化
- ・感染症対策も取り入れたBCP・BCMの普及・内容充実、国土強靱化税制の拡充

～活気に溢れ、人を惹き付ける～
中部圏の地域力向上

グローバル 国内他圏域

首都圏からの人や企業 中央省庁の機能

圏内各地域のポテンシャルを
“引き出し” “伸ばす”



経済早期回復

地域経済



多様な人財

働きやすく住みやすい環境



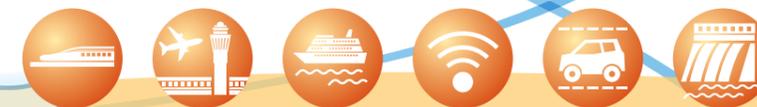
DX・イノベーション



魅力と活力のある地域



カーボンニュートラル



インフラネットワーク・レジリエンス

産学官・地域間の連携で
 圏内各地域のステークホルダーや地域資源を

“つなぎ”

付加価値の創造

経済の早期回復と高い付加価値を
 生み出す産業の創出・成長

人財の創造

多様な能力を発揮できる人財の育成と
 活躍しやすい環境の整備

魅力溢れる圏域の創造

広域産学官連携の活発化、
 魅力と活力のある地域づくり

ACTION 2025